

所 属	県土整備部 河川課		
担当(係)名	河川整備担当	内線	3723

<短期的・局地的豪雨対策の推進等>

丹生川ダム本体工事の完成と試験湛水の開始

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
2,400,000	国庫 1,183,248	工事請負費 2,206,000
(前年度	県債 1,207,100	(ダム管理設備等)
2,680,000)	分・負 9,600	
	一財 52	

2 背景・現状

荒城川沿川では、平成11年、16年に浸水被害が発生している。特に平成16年10月の台風23号では、床上17戸、床下47戸の甚大な被害を被った。

3 事業目的

丹生川ダムは荒城川沿川の浸水被害の軽減、高山市の水道水源の確保を目的として平成元年度に建設事業に着手し、平成24年出水期前までの完成を目指して事業を実施している。

総事業費：約280億円

平成22年度末：241億円（進捗率86%）

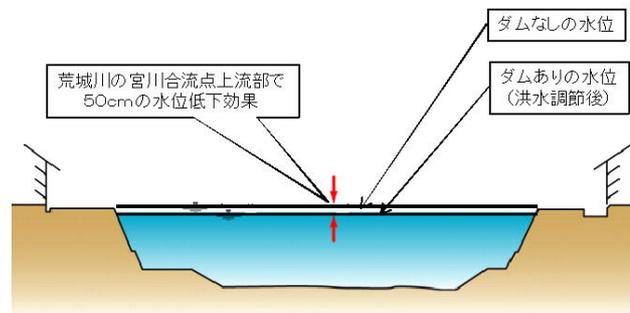
4 事業概要

ダム本体工事を完成させ、ダム貯水池に水を貯める試験湛水を平成23年10月から翌年5月頃まで実施し、ダムの安全性を確認した上で、平成24年出水期前（6月）から本格運用を開始する。



ダム本体の進捗状況

丹生川ダムの整備効果



(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (4) ダム建設費  
(明細書事業名) ○ 公共事業  
丹生川ダム建設費